

第1節 魅力ある顔と丈夫な骨格をもったまち

市街地整備

施策の目的・目標	住民の良好な居住環境の整備を図るため、都市基盤・都市施設の整備促進を図る。未着手地区の事業化を促進する。既成市街地内の道路・公園などの都市施設の整備を進め、安全で安心な生活環境づくりを図る。
施策の評価（現況と課題）	施行中の宮津特定土地区画整理事業は、一部の工事が完了していない。保留地を早期に完売する必要がある。町の中心核づくりのため、役場周辺公共用地を市街地へ編入した。今年度より卯坂南部土地区画整理事業の事業化に着手した。
施策の方向性（予算、改善等）	都市計画決定及び変更事業については、計画段階からコストを意識した無理のない計画策定に努める。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	土地区画整理事業の計画及び調査事務	建設課	準備委員会のある地区については、早く事業化し、整備するために協議の方法を工夫する。	改善
2	土地区画整理組合の指導、助言事務	建設課	計画のとおり整備ができるように組合の経営状況を把握し、適切な指導と助言をする。	現状維持
3	土地区画整理組合事務の補助事務	建設課	組合から事業についての疑義がでたときには、県と調整のうえ、事務の補助をする。	現状維持
4	土地区画整理法第76条の許可事務	建設課	地域内で建築行為などをする場合は、組合から意見書を聴取し、許可・不許可を決定する。	現状維持
5	都市基本計画事業	建設課	総合計画・都市マスタープランなどに計画された事案は、現状を考慮し計画的に実施する。市街化拡大の推進を図る。	改善
6	開発・建築等許認可・相談事業	建設課	民間の開発などの計画があれば、事前協議で調整し、県とも相談のうえ適切に指導する。	改善

幹線道路

施策の目的・目標	市街地間を連絡するとともに住宅地の主要な集散道路としての役割を担う幹線道路の整備をする。
施策の評価（現況と課題）	主要な幹線道路では、通勤、通学時における交通量の増加に伴い、慢性的な交通渋滞を引き起こしてきた。道路整備は進んでいるが、一部用地買収が停滞している個所がある。
施策の方向性（予算、改善等）	用地を確保するため、地元・地権者の理解を得ることに努め、幹線道路網の整備をする。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	都市計画決定及び変更事業	建設課	現状の把握に努め、各種の計画との整合性を図る。	現状維持

生活道路

施策の目的・目標	生活道路の多くは、道路幅員が狭く車の通行に支障が生じるため、緊急時の対応ができるよう各地権者の協力を得て整備していく。
施策の評価（現況と課題）	町的生活道路の多くは、道路幅員が4.0メートル以下で、車の通行に支障をきたしているところも見られる。すべてに対応するには、町の財政も厳しい。また、計画を立てても、地権者の理解が求められていない。
施策の方向性（予算、改善等）	要望に合わせて、優先順位をつけて計画的に進める。用地を確保するため、地区・地権者の理解を得て、狭い道路を解消し幹線道路へつなぐ道路網の整備をする。狭あい道路整備促進事業の採用を検討する。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	道路工事の調査、設計及び施工事業	建設課	コスト縮減に努め実施していく。	改善
2	用地の取得、収用及び補償	建設課	円滑な計画実施ができるように、組織を挙げて地権者の理解を求める。	改善
3	土木事業の企画及び調整	建設課	要望だけでなく、計画的に補修個所の把握、優先順位をつけて実施する。	改善
4	土木施設の維持管理事業	建設課	定期的にパトロールを実施し、全職員からの連絡をもって、重点個所の把握をする。	改善
5	土木施設の境界立合等	建設課	確定図のデータ化を進め、事務の効率化を図る。	改善
6	道路線の認定、変更及び廃止、台帳整備	建設課	台帳管理を的確に行い、事業を円滑に進める。	現状維持
7	土木施設の占用、使用、承認工事等に関すること	建設課	PR方法の工夫をして、住民に適切に情報を公表する。	拡充

駅前整備	
施策の目的・目標	町内にある5つの駅の周辺環境を整備するとともに、町民が安全で安心して使いやすい玄関口である阿久比駅の整備充実を進める。 また、主要な3駅については、駐輪場の整備充実を図り、放置自転車などの問題がない安全で利便性の高い駅前空間の創出をする。
施策の評価（現況と課題）	現状は、放置自転車が駐輪場に放置される台数は年間70台余りある。阿久比駅が特急停車駅となり、乗降客が増加してきており、放置自転車も増加してきた。また、駅利用者が「安全で安心して」利用できる駅前整備を図る必要がある。
施策の方向性（予算、改善等）	主要3駅の監視活動を行うとともに住民への意識の向上を図るため、放置自転車防止キャンペーンを企画・実施する。放置台数の減少に努め、目標台数へ近づけ廃棄処分コストを下げしていく。また、利用者が「安全で安心して」利用できる駅前とするための施設の整備を行う。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	放置自転車対策事業	防災交通課	放置されにくい環境を整備し、駐輪場利用者のマナー向上の運動を強化する。そして、放置自転車撤去の実数の減少を実現する。	改善

公共交通	
施策の目的・目標	町民が自由に移動できる交通環境を整える必要があると考え、あらゆる人々に利便性が高くかつ、効率的な循環バスの運行を目指し調査を実施し、事業を展開するための具体策を策定する。
施策の評価（現況と課題）	2,000人にアンケートを実施した結果、1,145人から回答があり、回収率は57.3%であった。そのうち86.3%が循環バスは必要と回答した。また、回答者の62.7%が運営費の町の財政負担もやむを得ないと回答があった。そこで、循環バスによる交通環境を整える必要があると考える。
施策の方向性（予算、改善等）	あらゆる人々に利便性が高くかつ、効率的な循環バスの運行を目指し、「阿久比町循環バス検討委員会」で事業を展開するための具体策を検討する。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	循環バス対策事業	防災交通課	アンケート調査の回収率は、かなり高く必要性も高かった。	拡充

公園・墓地	
施策の目的・目標	公園は、地域や家族のふれあいの拠点や健康づくり、コミュニティの場として住民生活に潤いを与え、生活環境に欠かすことのできない施設であり、防災上からも避難所として利用をする。また、現在公園緑地面積は2.85㎡/人（市街地）であり、地域間の平均値もあり整備水準である1人当たりの公園緑地面積10.0㎡/人を基準目標とバランスなどを考慮しながら、日常生活に密着した公園を適正に配置する必要がある。
施策の評価（現況と課題）	現在、都市公園として36カ所あるが、ほとんどが区画整理および団地開発などで整備されたものであり、地区内の街区公園は用地などの問題もあり整備されていないのが現状である。住民が憩いの場として利用できる公園を整備する必要がある。草の繁茂が激しく、維持管理に苦慮している公園もある。山田中央公園の施設拡大整備を図る。
施策の方向性（予算、改善等）	地区の現況にあわせた公園の適正配置を考慮し、必要に応じた施設など整備、充実を図るため、県費補助事業として推進する。また、公園の継続管理は、地区で実施ができることはお願いし、整備の必要があれば地区と協議し利用しやすい公園整備に努める。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	公園緑地事業	建設課	住民が安全・快適に利用できるよう、施設の維持・管理に努めるとともに必要な面的な公園の配置計画を立てる。山田中央公園の拡張事業を進めている。	改善

緑地・緑道	
施策の目的・目標	板山高根湿地に生息する貴重な動植物を保全し、自然観察会を開催することにより自然に対する住民の関心を深める。
施策の評価（現況と課題）	湿地の環境は年々変化しているが、生息する貴重な動植物の保全に努めるために、土地の借り上げを行い、自然観察検討委員会で検討しています。 自然観察会を開催し、住民の関心を深めています。
施策の方向性（予算、改善等）	湿地の環境が年々変化しているので、生息する貴重な動植物の保全に努めるために、土地の借り上げを継続し、自然観察検討委員会で検討を継続します。 住民の関心を深めるために自然観察会を開催する。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	板山高根湿地保全事業	社会教育課	土地の借り上げを行い、自然観察検討委員会で検討を継続し、住民の関心を深めるために、自然観察会を開催する。	現状維持

緑化

施策の 目的・目標	公共施設や身近な生活の場の緑化、自然環境の保全・整備を進め、緑豊かなまちづくりを推進する。 1. 地域緑化の推進を行い、緑化思想の高揚を図る。 2. 公共施設の緑化事業の推進を図る。 3. 緑の募金活動を推進し、住民の意識の高揚を図る。
施策の評価 (現況と課題)	緑には二酸化炭素を吸収するだけでなく、強い日差しや風雨をさえぎる、騒音を緩和するなど、さまざまな効果があるため、身近な緑の創出を進める。
施策の方向性 (予算、改善等)	緑のカーテンづくり、写真コンクールの開催など民有地の緑化支援を行う。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	緑化推進事業	産業課	公共施設と併せて、民有地の緑化推進を図ることが必要である。	改善

その他

施策の 目的・目標	みどりの少年団活動を推進し、青少年の緑化事業に対する理解を深める。 野生鳥獣の適切な保護管理を図る。 治山事業の促進を図り、森林保全と災害防止を図る。
施策の評価 (現況と課題)	8カ所要望の治山事業は、国・県の財政難により進捗率が良くない。 被害防止のため有害鳥獣駆除や個人による駆除を行っているが、農作物の鳥獣被害が依然として発生している。
施策の方向性 (予算、改善等)	保安林指定同意の意向確認を十分にして、事業の促進を図る。 鳥獣駆除の方法や回数を検討する。

関連事務事業

No.	事務事業名	担当課	評価者のコメント	改善の方向性
1	林務関係事業	産業課	みどりの少年団活動の推進施策を検討する。	改善
2	鳥獣保護関係事業	産業課	鳥獣による被害実態の捕捉をして、有害鳥獣の駆除計画の検討と野生鳥獣の保護計画を作成する。	改善
3	治山・治水関係事業	産業課	保安林指定同意の意向確認を十分にして、治山事業の計画的執行を図る。	改善